

図書紹介

「親日宣言」



韓国歌手

チョ・ヨンナム

動は、何を意味するのか。彼の真意は分からないが、近隣同士が角突き合わせていても仕方がない、もっと大人になろう。日韓間のこんがらがった糸を解きほぐす防人になろうという気構えか。

韓国では「親日派」の類義語は「売国奴」だ。韓国人にとって非常にきわどいタイトルをあえて本書に冠することで、日本と親しくしたり好意を持つことは売国的ではないことを明らかにしたいと筆者が心を砕いているという訳者の後書きを読んで納得した次第である。(川島順)

チョ・ヨンナム著「親日宣言」ランムハウス講談社、平成17年4月発行。定価1500円。

なんと評価してよいか分からない奇妙な本だ。韓国の世界的歌手チョ・ヨンナムの「親日宣言」ご丁寧にも「殴り殺される覚悟で書いた」とのサブタイトル付きである。最初は、余りにも日本を褒めすぎているので何か裏があるのではないかと疑いたくなる程だった。

本誌77号にキム・ワンソプ著「親日派のための弁明」を紹介した。この本は極めて公正に日韓の歴史を評価し、韓国の反日感情に疑問を投げかけている。素直に共感を覚える本であった。

一方、チョ・ヨンナムはソウルでの韓日体育大会開会の式で「君が代」を歌い、日本政府に招待された時に靖国神社参拝（見学）を公式スケジュールに入れさせるなど、今の韓国人には信じられない彼の行